

信州大学人文学部教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

（2021年4月以降入学生対象）

本学部では、学位授与の方針（ディプロマポリシー）に基づき、各授業の目標を設定するとともに、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

○学生は1年次に共通教育科目および専門科目の一部を通して多彩な学問領域に触れ、2年次からは所属コースの履修表に従って専門科目を中心に学修します。

○専門領域の知識・能力を着実に修得させるため、専門科目を修学プロセスに対応した6つの科目群（1.導入、2.基礎、3.基幹、4.発展、5.探究、6.自由）によって段階的に構成します。

○学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げた諸能力の着実な修得を目的として、主専攻での専門的な学修と同時に、より幅広い領域への関心および履修を促すべく、2つの授業科目（新生ゼミナール・人文科学通論）と1つの履修プログラム（広域履修プログラム）を設けています。このことによって、多彩な領域を横断させて主体的に、そして有機的に学修することを推進します。

○すべての授業科目において授業目標と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確化し、授業目標への到達度で成績評価し、単位の実質化を図ります。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。